

科目名	社会福祉概論						授業の種類	講義	必修・選択		必修
授業回数	15	回	時間数	30	時間	1	単位	配当学年時期		1年	前期
【授業の目的・ねらい】 地域に根ざした支援に必要な社会福祉の知識とその活用法を身につける。 国家試験に必要な社会福祉領域の知識を整理し合格する力を身につける。											
【実務者経験】											
【授業全体の内容の概要】 言語聴覚士として地域での充足した支援を実現するために社会福祉に関する基礎的な知識や社会資源等の活用方法について理解できる。国家試験に則した社会福祉の知識を身につける。											
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 地域と社会福祉およびそれを支える様々な活動を理解し、社会資源としての福祉サービスについて理解できる。国家試験に合格する知識を身につける。											
回数	講義内容										準備物(教材)
1	社会福祉の考え方(社会保障と社会福祉、原理原則)について理解できる。										STテキスト
2	社会福祉の歴史的展開と施策体系について理解できる。										STテキスト
3	社会福祉に関連する保健・医療・福祉サービスについて理解できる。										STテキスト
4	児童福祉、老人福祉について理解できる。										STテキスト
5	身体障害者福祉、知的障害者福祉、精神保健福祉について理解できる。										STテキスト
6	社会福祉法について理解できる。										STテキスト
7	生活保護について理解できる。										STテキスト
8	社会福祉援助技術について理解できる。										STテキスト
9	地域福祉の基本的考え方について理解できる。										STテキスト
10	社会福祉協議会や民生委員が果たす役割について理解できる。										STテキスト
11	地域福祉に係る組織、団体及び専門職や地域住民について理解できる。										STテキスト
12	地域福祉と包括ケアシステムについて理解できる。										STテキスト
13	地域での生活を支える地域福祉サービスの実際について理解できる。										STテキスト
14	公衆衛生について理解できる。										STテキスト
15	社会福祉について総合的に理解できる。										STテキスト
定期筆記試験											
【使用教科書・教材・参考書】 『言語聴覚士テキスト』第3版 医歯薬出版											
【準備学習・時間外学習】 テキストを読んで理解しておくなどの予習および復習が必要です。											
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】 試験の結果を100点満点として成績を評価する。 試験は定期試験のみ実施とし、 60点以上の場合に科目を認定する。											